

金岡新聞

5月号

日本ロマン飛行 ③③

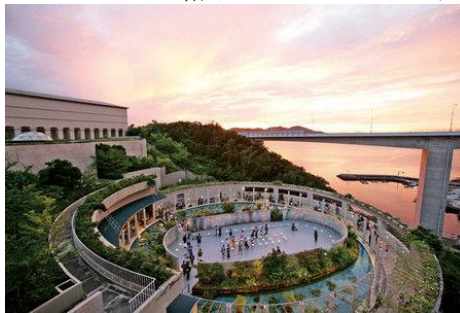
― 大塚国際美術館 徳島 ―

世界の名画を陶板画で再現した美術館。世界25ヶ国190余りの美術館が所蔵する西洋名画1000余点を、陶板で原寸大に再現し展示している。陶板の名画は約2000年以上も退色劣化を免れるので、文化財の保存の形でも貢献している。

結婚披露宴、歌舞伎の上演、将棋の対局会場としても使われているシステイナーナ礼拝堂の環境展示「システイナー・ホール」や、ピカソの「ゲルニカ」などは圧巻の一言。また、修復前、修復後の2枚の原寸サイズの最後の晩餐のレプリカを見られるのは世界でもここだけである。屋外の「大睡蓮」も人気が、池には睡蓮、その中にはモネの「睡蓮」が円形に展示されている。



山佐産業(株)
瀬戸内プレカット
金岡事業所
岡山市東区金岡東町3-5-70
TEL 086-948-2053
FAX 086-948-0108



モネの『大睡蓮』は、今年11/28~12/31 更新工事の為、期間中鑑賞不可の予定

画を撮影できたり、本物と同じ質感を楽しんでもらう為、一部を除いて美術品に触ることができ、魅力的ポイント。複製が展示されているのに、入館料が日本一高い美術館でもある。入館料・中高540円/大学2160円/一般3240円。それでも、安いものだという感想が後を絶たないほど、見どころ満載の美術館なのである。

花言葉は、メッセージ・希望

『アヤメ(文目・菖蒲)』

アヤメの仲間には花も草姿も似ているために一見どれがどれだがわからなくなることがある。アヤメや花菖蒲は庭や畑に植えてもよく育つが、カキツバタは湿地を好み水のあがる場所、例えば田んぼのような場所でないとうたない。背のたけはアヤメが一番低く(30~60cm)、カキツバタが中間(50~70cm)、ハナシヨウブは背が高く(80~100cm)。

アヤメ類は全体的にどちらかというとあまり乾燥地を好まずに湿り気のある場所を好む。

ハナシヨウブは江戸時代中期にノハナシヨウブから園芸改良された園芸品種で江戸系、肥後系、伊勢系の3大系統があり、咲き方や花の色も多種に富んでいる。

新谷花菖蒲園

(愛媛県・大洲市)

新谷花菖蒲園は愛媛県大洲市にある花菖蒲園。40年前、新谷にいや藩の陣屋敷跡麟鳳閣(りんぼうかく)の池から矢落川の遊水地に20株の花菖蒲の苗を植えたのが始まり。今では20アールの花菖蒲園に約200種8000株という発展ぶり、その間には品種改良を重ね、たくさん品種も生まれた。「大洲美人」「臥龍の昔」「富士の霧」は大洲にちなんだ命名。花菖蒲まつりは毎年6月1日より15日まで大洲市の恒例行事として開催されている。

金岡事業所で、長年共に戦い、走ってくれていた日産パルサーが、この度引退致しました。辛かったこと、楽しかったこと、色々な出来事が走馬灯のように思い出され・・・涙涙の別れとなりました。



新たにヴィッツがやってきました!!!
ドライバー共々、今後とも、どうぞよろしくお願い致します。

